

ソフト交付金の事業例【北大東村】

オンライン双方向授業支援モデル事業

- 遠隔地である離島において、課題となっている教育環境格差を解消する為、都市部と同様の学習環境を提供できるオンライン双方向授業を行う。
- 総事業費：1.1億円(国費：0.9億円)
※25～4年度



子育て環境整備事業

- 子育て世代を含む人口流出が大きな課題となっており、子ども達が安全に遊べる遊具を整備することで、子育て世代の満足度を向上させる。
- 総事業費：0.5億円(国費：0.4億円)
- 令和4年9月 供用開始予定

